

対処すべき課題

経営理念

富士電機は、地球社会の良き企業市民として、
地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、
誠実にその使命を果たします。

- 豊かさへの貢献
- 創造への挑戦
- 自然との調和

スローガン

熱く、高く、そして優しく

経営方針

- 1. エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。**
- 2. グローバルで事業を拡大し、成長する企業を目指します。**
- 3. 多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮します。**

2019～2023年度中期経営計画 令和.Pro Prosperity2023

■ 2023年度経営目標

売上高

1兆円

営業利益率

8%以上

■ 重要課題

成長戦略の推進

パワーエレクトロニクス事業、半導体事業の拡大

収益力の更なる強化

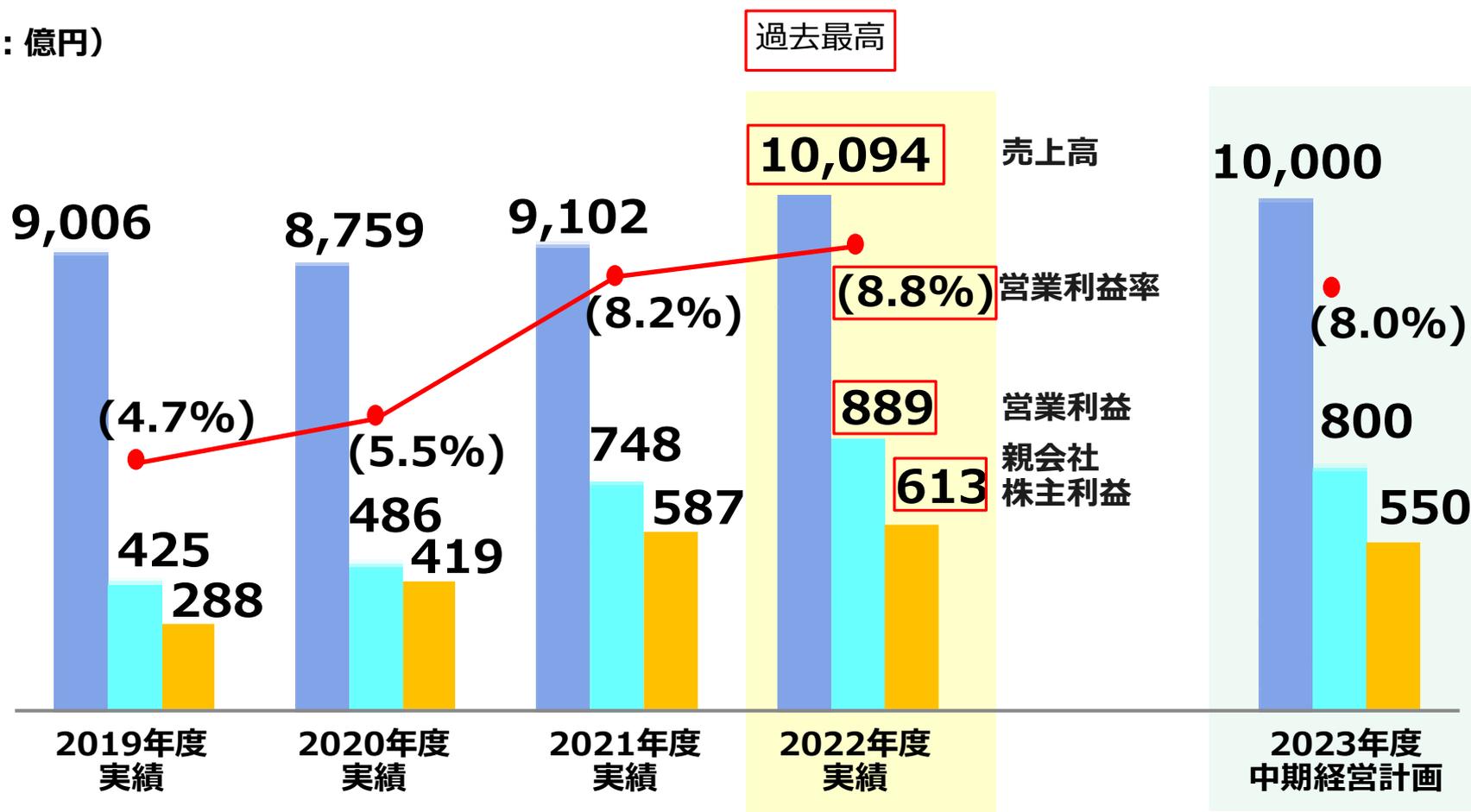
グローバルでものづくり力強化

経営基盤（ESG）の 継続的な強化

現中期経営計画の進捗状況

現中期経営計画の目標を1年前倒して達成

(単位：億円)



2023年度経営計画

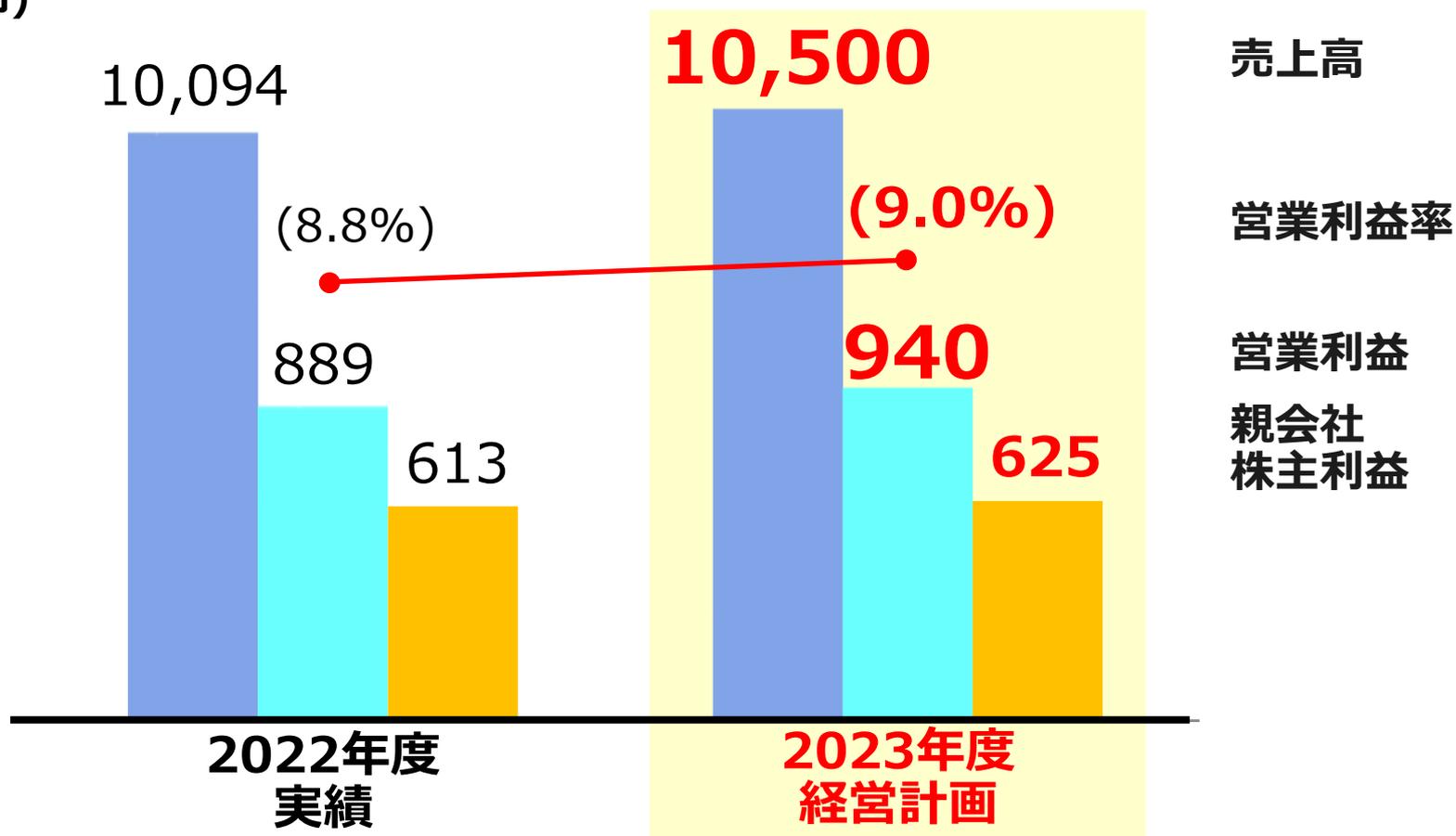
- 成長戦略の推進
- 収益力の更なる強化

次期中期経営計画の策定

経営基盤（ESG）の継続的な強化

売上、利益の拡大、**営業利益率9%以上**を目指す

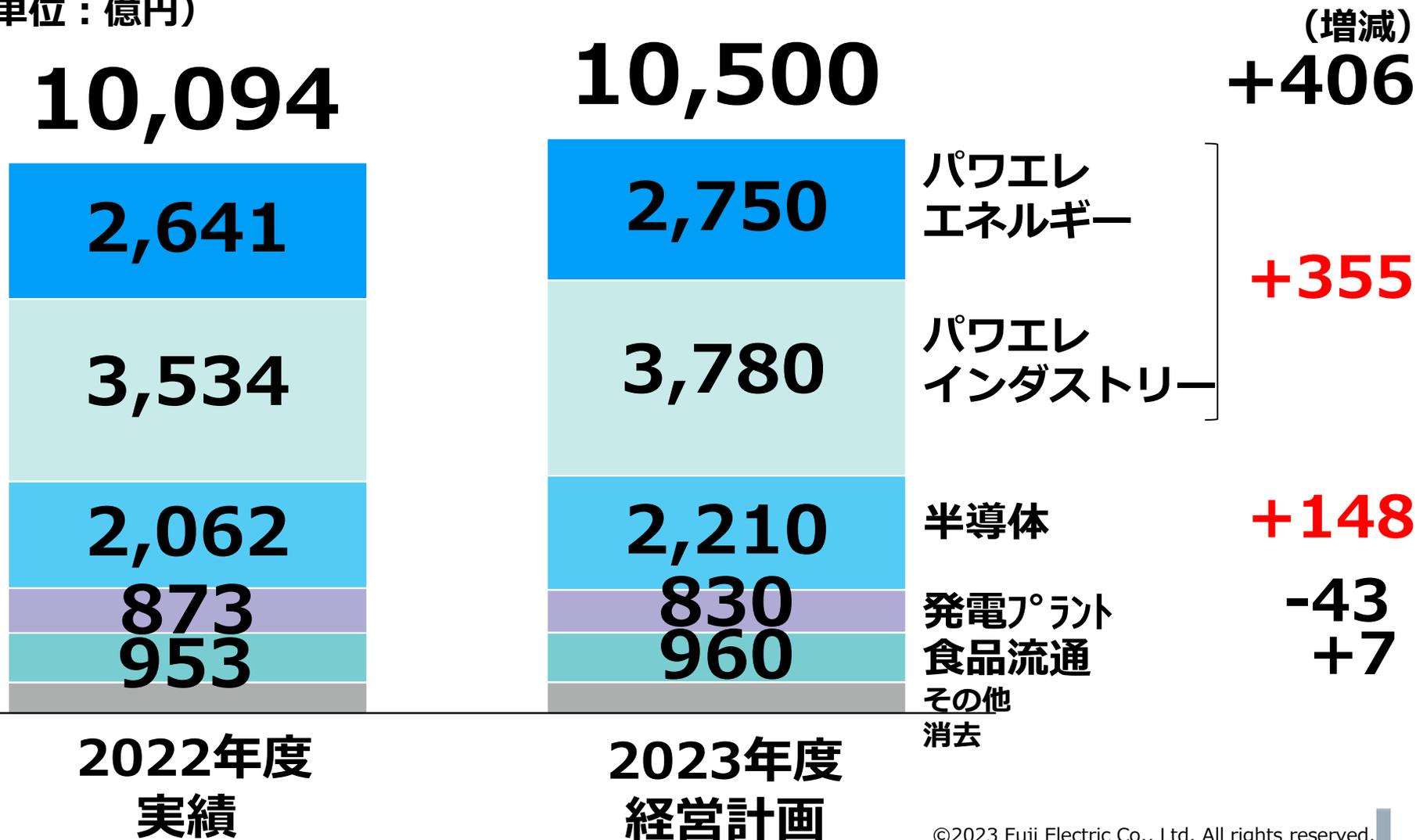
(単位：億円)



売上高（セグメント別）

パワエレ、半導体事業を中心に売上拡大

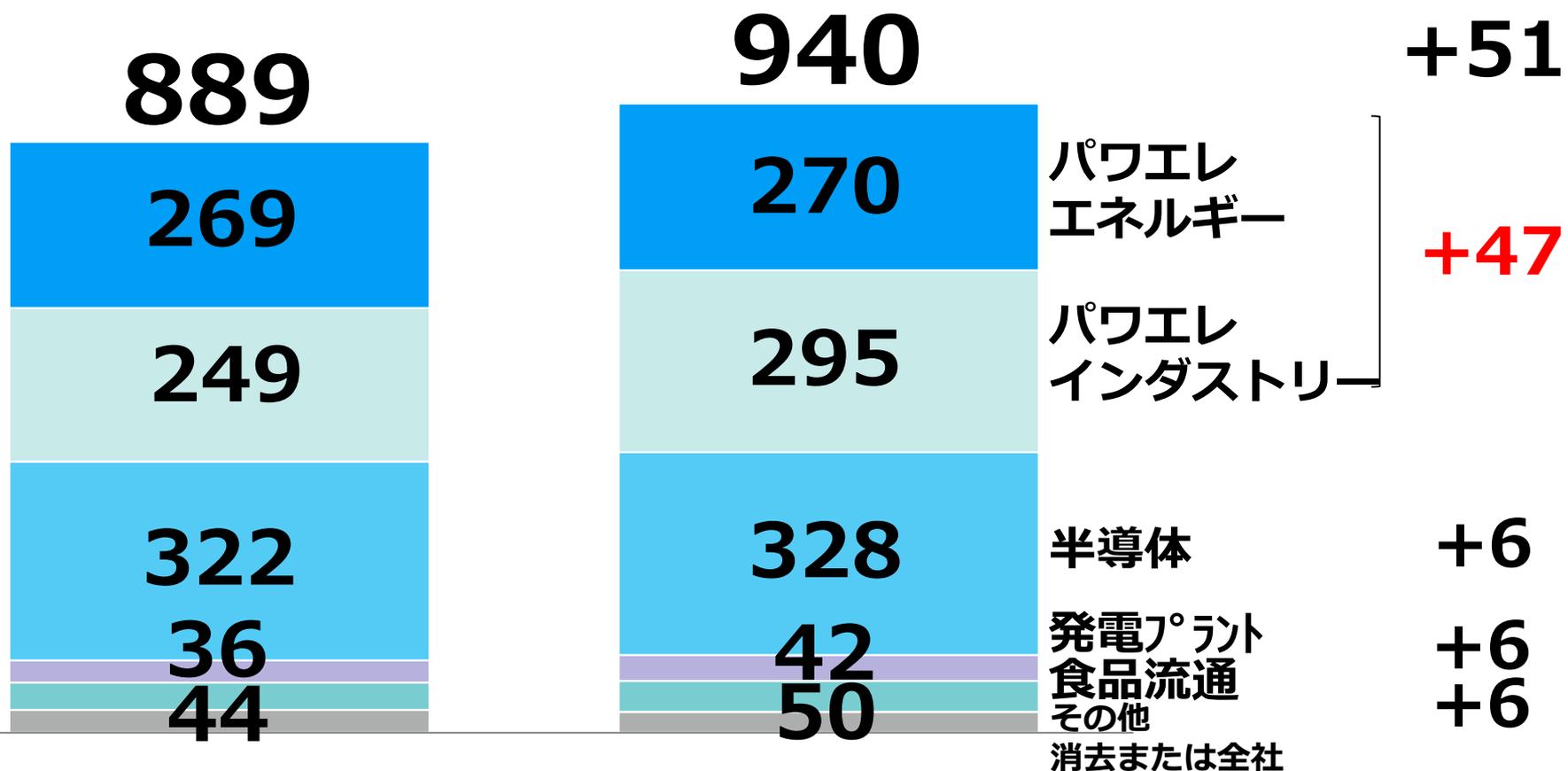
（単位：億円）



営業利益（セグメント別）

パワエレを中心に利益拡大を図る

(単位：億円)

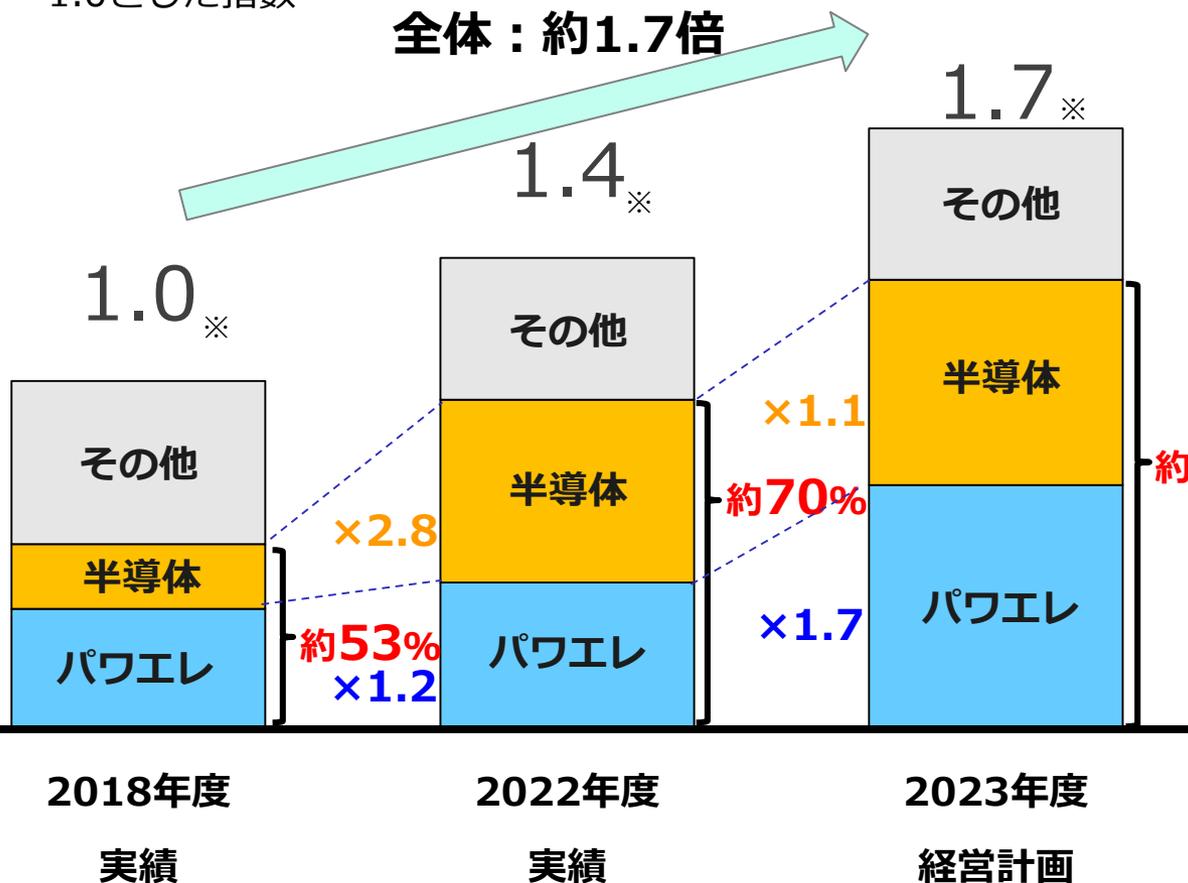


2022年度
実績

2023年度
経営計画

新製品の投入が、パワーエレ・半導体の売上拡大に貢献

※ 2018年度の新製品売上高を
1.0とした指数



新製品売上高の主要製品

- ◆半導体
 - ・電装向けパワー半導体
- ◆パワーエレ
 - ・低圧インバータ
 - ・電気設備丸ごと商材 (大容量UPS、盤等)

新製品定義：上市後 5年以内

●グローバルで売上拡大

- **新製品の早期投入**
- インド・東南アジアを中心に海外売上の拡大

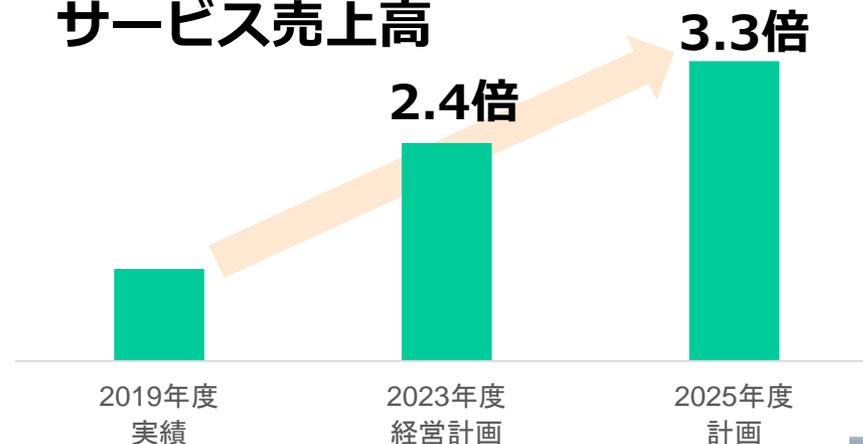
●サービス事業強化

- 老朽設備の劣化診断
- データセンター、半導体工場の電気設備まるごと保守強化

■新製品の早期投入



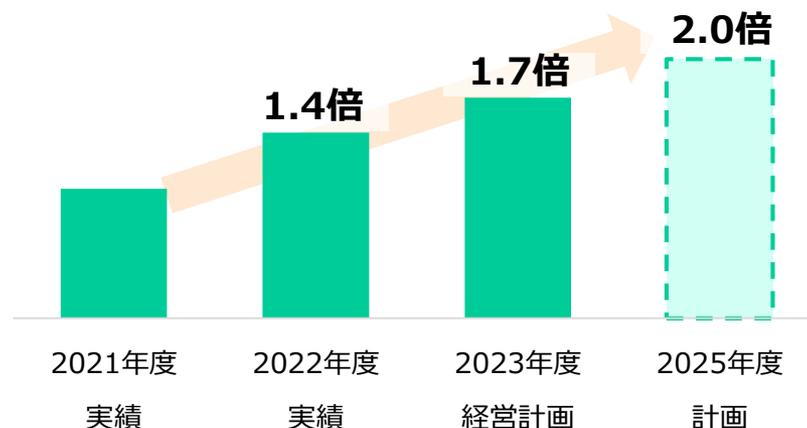
■データセンター、半導体工場向けサービス売上高



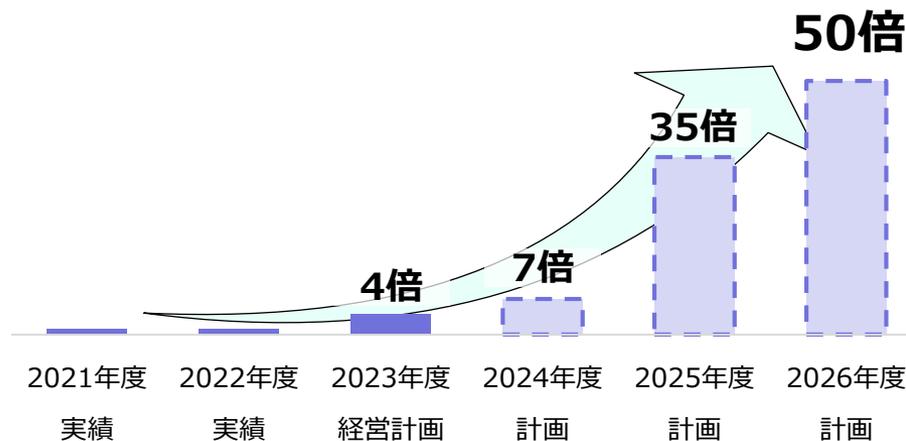
● Si 8インチ生産能力増強、
電動車・再エネ向け
売上拡大

● SiC 6インチ本格量産
に向けた生産能力増強、
新製品開発

■ Si 8インチ生産能力計画



■ SiC 6インチ生産能力計画



事業ポートフォリオ変革推進

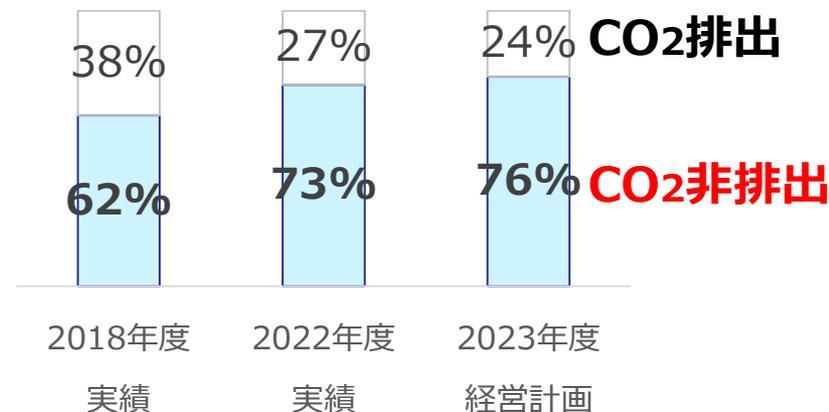
●再生可能エネルギー事業の拡大

- 地熱発電：幅広い熱源への提案強化
- 水力発電：揚水発電分野への参入
- 太陽光発電：蓄電制御・安定化技術による提案拡大

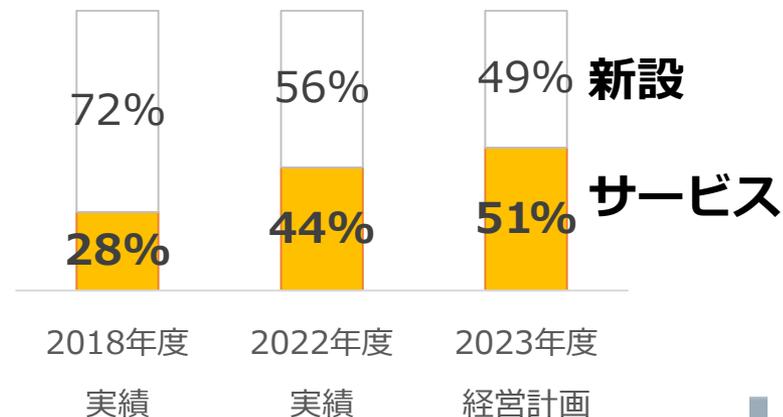
●原子力における安全廃止措置/廃棄物処理分野での売上拡大

●サービス事業の拡大

■CO2非排出分野売上比率



■サービス売上高比率



売上拡大と更なる収益性改善

- コア技術を活かした新分野開拓による売上拡大
- 高付加価値商材の拡大と原価低減による収益力強化
 - 省エネ/環境配慮型商材の展開
 - 生産拠点集約の効果抽出 (グローバルで5→2拠点)

■ コア技術を活かした売上拡大

新分野



冷凍自販機



物販自販機



外食コーヒー



加冷熱
ITロッカー



■ 省エネ/環境配慮型商材



サステナ自販機

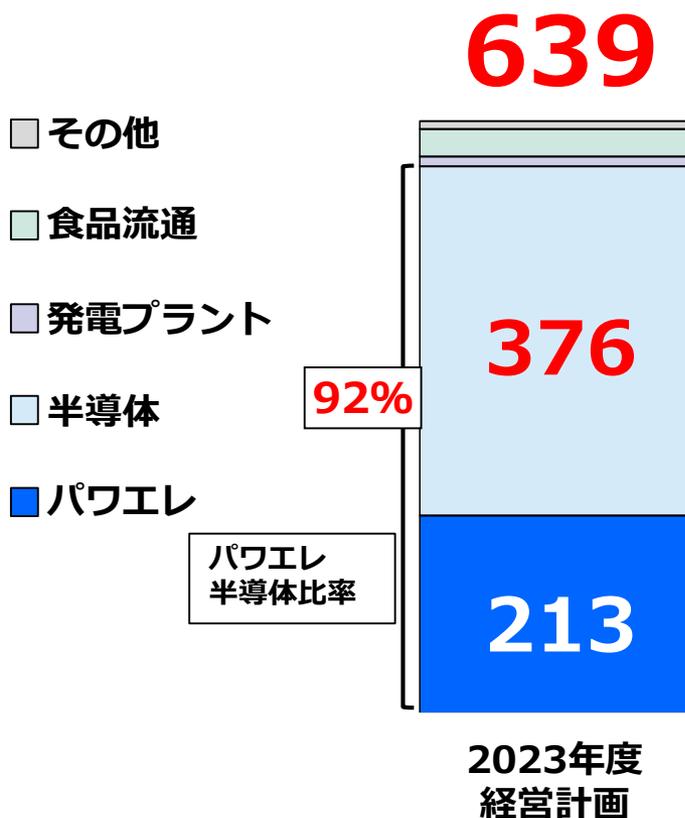


環境型ショーケース

成長分野である半導体・パワーエレへ集中投資

(単位：億円)

<2023年度の主な投資内容>



半導体

- ・ SiC 6インチ/Si 8インチチップ生産能力増強
- ・ 自動車向けモジュール生産能力増強

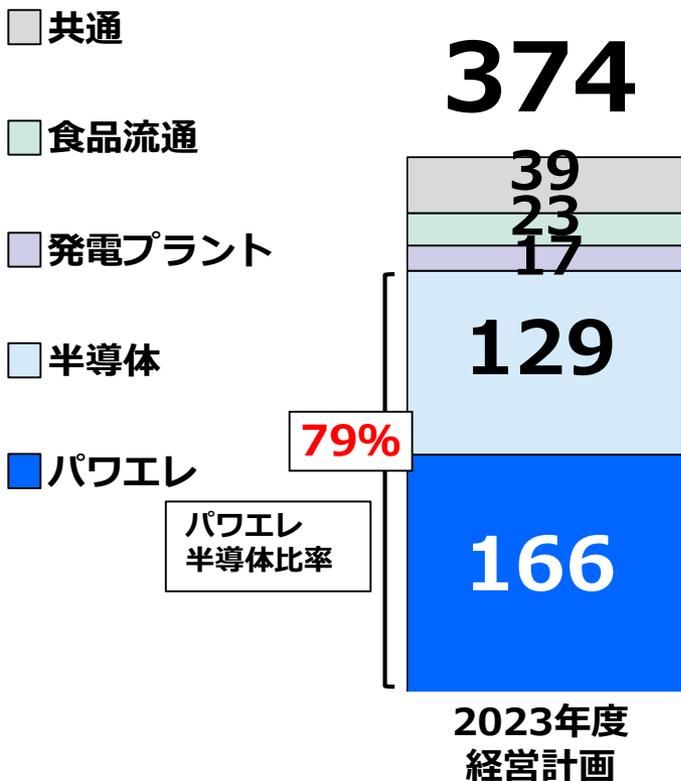
パワーエレ

- ・ 海外工場の内製化拡大
- ・ 国内工場の生産能力増強
- ・ 開発試験設備の導入
- ・ 器具の新製品生産設備の導入

主力のパワエレ・半導体に加え 発電プラント・食品流通の研究開発を強化

(単位：億円)

<2023年度の主な開発テーマ>



食品流通 ・ 省エネ/高付加価値商材

発電プラント ・ 再エネ/分散型電源向け新商材

半導体

- ・ 自動車SiC/IGBTモジュール
- ・ 産業向け大容量IGBTモジュール
- ・ 次世代SiC/IGBT

パワエレ

- ・ グローバル商材
- ・ モビリティ分野向け商材
- ・ 蓄電池システム、EMS

※研究開発費をテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短信記載の数値とは異なります。

半導体の設備投資額は対中期経営計画で大幅増

設備投資

（単位：億円）

2,914

- その他
- 食品流通
- 発電プラント
- 半導体
- パワエレ

1,974

93%

パワエレ
半導体比率

737

2019～2023年度
（実績+23年度計画）

2,200

1,200

90%

780

2019～2023年度
（中期経営計画）

研究開発

（単位：億円）

- 共通
- 食品流通
- 発電プラント
- 半導体
- パワエレ

1,754

78%

パワエレ
半導体比率

626

750

2019～2023年度
（実績+23年度計画）

2,000

80%

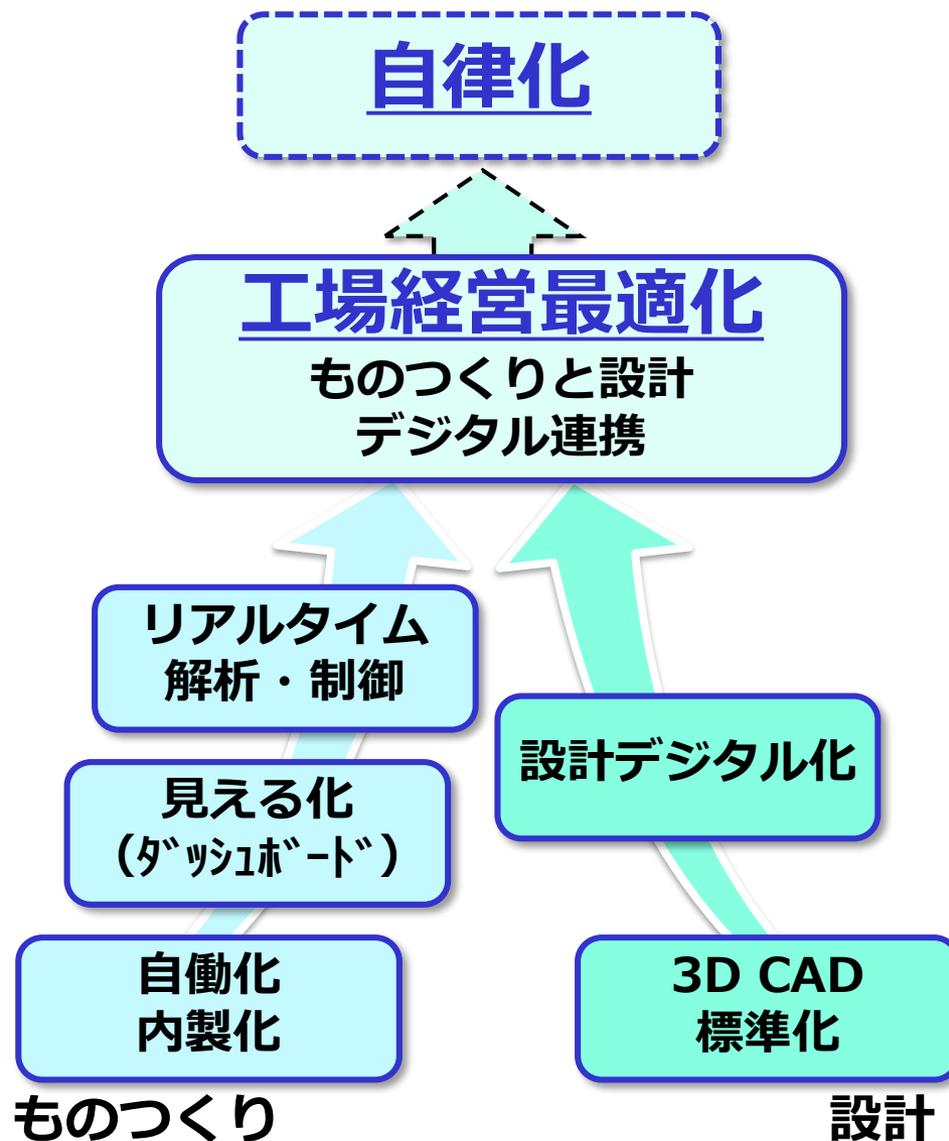
740

850

2019～2023年度
（中期経営計画）

※研究開発費をテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短信記載の数値とは異なります。

- **ものづくりのデジタル改革**
-設計～購買～製造・試験の各工程のデジタル連携
- **地産地消の推進と海外生産技術者の育成**
- **サプライチェーンマネジメントの強化**
-資材調達先のマルチ化とグローバル調達の推進



次期中期経営計画の策定

2024-2026年度

富士電機の新たな成長戦略を描く

利益重視（営業利益、当期利益）

2030年ビジョン × 2023年度からの展望

- エネルギー・環境技術の革新により、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献する
- 強いコンポーネントの創出
そのコンポーネントを活用したシステム
デジタル活用による新たな価値創出

エネルギー・環境事業で温室効果ガス排出削減に貢献

供給サイド



電力会社 発電事業者

需要サイド



工場 施設 自動車 鉄道 港湾

脱炭素電源
分散化

エネルギー
安定供給・最適化

省エネ・自動化

電化
(電動車・船舶)

グリーントランスフォーメーション

水素

直流配電

熱商材

グリーン電力化

DXによる社会価値創出

低環境負荷素材への代替

+

生産性
向上

ESGを中核とした 経営基盤の継続的な強化

経営理念・経営方針に基づき、中長期的な経営基盤の強化に向け ESGの重要課題に対しグローバルで推進

E 環境

- サプライチェーン全体でカーボンニュートラルを目指す
- 温室効果ガス削減へ向けた環境投資の継続
- 製品ライフサイクルに亘る環境負荷低減

S 社会

- 多様な人財（女性、高齢者、障がい者）の活躍推進
- 次世代育成支援
- 社員意識調査の継続実施
- 働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの推進

G ガバナンス

- リスクマネジメントの強化
- コーポレート・ガバナンスの実効性向上
 - ・ 取締役会実効性評価の継続実施と運営への反映
- コンプライアンスの推進

**エネルギー・環境技術の革新により、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。**

スローガン

熱く、高く、そして優しく